

高校歴史総合プリント（過去問類似）
歴史総合（2025年～の共通テスト本試験）
No.9

名前

得点

/9

問1 中国では、1970年代後半に文化大革命の混乱から脱却し、経済の立て直しが急務となった。1978年末に実権を握った指導者のもとで、対外開放や市場経済の導入を進める「改革開放」政策が本格化した。この政策において国家目標として掲げられた、農業・工業・国防・科学技術の4分野における近代化政策を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 三つの代表 2. 四つの基本原則 3. 四つの現代化 4. 改革開放政策

問2 冷戦期の東欧における動揺に関して述べた次の文の空欄 [] に入る歴史的出来事として最も適当なものを、後の選択肢から選べ。1960年代後半、チェコスロヴァキアでは『人間の顔をした社会主義』をスローガンに、検閲の廃止や複数政党制の導入といった民主化の動きが高まった。しかし、東側陣営の結束の乱れを警戒したソ連は、ワルシャワ条約機構軍を投入して軍事介入を行い、 [] と称されたこの運動を強制的に終息させた。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 東ベルリン暴動 2. ポズナニ事件 3. ハンガリー事件 4. プラハの春

問3 19世紀、隣接するインドの支配を固めたイギリスは、東方への勢力拡大を図って3回にわたる戦争を行った。その結果、現地王朝が滅亡し、1886年に英領インド帝国の一州として併合された地域はどこか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. シヤム 2. ビルマ 3. ジャワ 4. ラオス

問4 19世紀前半、諸藩は財政再建や軍事力強化を目指して独自の改革を断行した。このうち、調所広郷を起用して膨大な借債の整理や奄美特産の黒砂糖の専売制強化、琉球貿易の拡大などを行い、財政再建に成功して幕末の政局で主導権を握る軍事力を蓄えた、九州南部の雄藩はどこか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 薩摩藩 2. 土佐藩 3. 長州藩 4. 肥前藩

問5 16世紀末から17世紀初頭のイングランドでは、絶対王政の安定期を背景に演劇などの宮廷文化が栄えた。この時代に活躍し、『ハムレット』や『マクベス』などの四大悲劇や、古代ローマを舞台とした『アントニーとクレオパトラ』など、人間の内面を深く描写した数多くの戯曲を残した劇作家は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. モンテーニュ 2. セルバンテス 3. シェークスピア 4. ボッカチオ

問6 19世紀後半から20世紀初頭の東アジアにおける外交交渉において、日本の全権が洋装を着用している一方、清の全権が辮髪を結び伝統的な官服を着用している姿が見られる。この、日本の明治維新以降かつ清の辛亥革命以前という双方の風俗の特徴が同時に現れる時期に締結され、日本が清に朝鮮の独立を認めさせ、遼東半島や台湾などを割譲させた講和条約は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 南京条約 2. 下関条約 3. 天津条約 4. 北京条約

問7 19世紀、インドから東方へ進出を図るイギリスとの間で3次にわたる戦争を行い、最終的に敗北して滅亡し、その領土が英領インド帝国の一州として併合されることとなったビルマの王朝は何か。（2026年 全国公立入試 類似）

1. コンバウン朝 2. アユタヤ朝 3. スコータイ朝 4. トゥングー朝

問8 19世紀末、東アフリカのイタリア保護領となった地域などでは、植民地支配下にあっても現地の司法制度が一部維持されていた。金銭紛争などの民事裁判において、聖典や預言者の伝承に基づく法体系に則り、裁判を執り行ったイスラーム法の裁判官を何と呼ぶか。（2026年 全国公立入試 類似）

1. カーディー 2. ハリーフ 3. アミール 4. イマーム

問9 1955年にインドネシアのバンドンで開催されたアジア・アフリカ会議において採択された、主権の尊重、反植民地主義、民族自決などを盛り込み、東西冷戦の二大陣営から距離を置く第三世界の連帯の基礎となった原則は何か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 日中共同声明 2. 平和十原則 3. 平和五原則 4. 世界人権宣言

答え合わせ・解説 No.9

問1	答え 3 四つの現代化	1978年末の中国共産党第11期中央委員会第3回全体会議において、鄧小平指導部のもとで「四つの現代化」が国家目標として本格的に推進されることが決定された。これは農業、工業、国防、科学技術の4つの分野における近代化を目指すものであり、これに伴って「改革開放」政策が本格化し、外資の導入や市場経済化が進められることとなった。なお、キューバ革命（1959年）やブラハの春（1968年）はいずれもこの政策の決定より前の出来事である。
問2	答え 4 プラハの春	1968年にチェコスロヴァキアで展開された民主化運動は「プラハの春」と呼ばれる。ドブチェク第一書記のもとで進められたこの改革は、社会主義体制の動揺を恐れたソ連や他の東欧諸国による軍事介入（ワルシャワ条約機構軍の侵攻）によって圧殺された。ソ連はこの介入を正当化するため、社会主義陣営全体の利益のためには一国の主権は制限されるという「制限主権論（ブレジネフ・ドクトリン）」を提唱した。
問3	答え 2 ビルマ	19世紀、イギリスはインド支配を足がかりに東方へ進出し、コンバウン朝との間で3次にわたる戦争（ビルマ戦争）を行った。1885年の第3次戦争でコンバウン朝は滅亡し、翌1886年にイギリスはビルマを英領インド帝国の一州として併合した。なお、隣国のタイ（シャム）は英仏の緩衝地帯として独立を維持した。
問4	答え 1 薩摩藩	19世紀前半の藩政改革において、薩摩藩は調所広郷を登用して財政再建に乗り出した。250年賦の無利子償還という強硬な借債整理や、黒砂糖の専売制強化、琉球を通じた密貿易の拡大などによって莫大な備蓄金を築いた。この経済的基盤をもとに、のちに島津斉彬らが洋式軍備の導入や集成館事業を推進し、幕末の政局をリードする強力な軍事力を備えるに至った。
問5	答え 3 シェークスピア	エリザベス1世の治世下のイングランドでは、主権国家の形成と経済的繁栄を背景に、演劇をはじめとするルネサンス文学が黄金期を迎えた。この時代を代表する劇作家がシェークスピアであり、人間の複雑な心理や葛藤を卓越した表現力で描き出した。フランスのラブレールやモンテーニュ、スペインのセルバンテスなど、同時代の他国のルネサンス文学者との区別が重要である。
問6	答え 2 下関条約	明治維新以降、日本は官制や軍制の近代化に伴い洋装を導入した。一方、清では満洲族の支配下で辮髪（べんぱつ）の風習が義務付けられており、これが廃止されるのは1911年の辛亥革命による清朝滅亡以降である。したがって、日本の洋装と清の辮髪が同時に見られる外交交渉は1868年から1911年の間に限られる。1895年に締結された日清戦争の講和条約である下関条約は、日本の伊藤博文（洋装）と清の李鴻章（辮髪）の間で交渉が行われ、朝鮮の独立承認や台湾の割譲などが取り決められた。
問7	答え 1 コンバウン朝	18世紀半ばに建国されたコンバウン朝（アラウンパー朝）は、アッサム地方などへの進出を試みたことで、インドを支配するイギリスと衝突した。19世紀に3次にわたるビルマ戦争が勃発し、1885年の第3次戦争で滅亡し、翌1886年に英領インド帝国の一州として併合された。
問8	答え 1 カーディー	19世紀末の東アフリカ（現在のソマリア南部など）の保護領では、ヨーロッパ列強の支配下に入った後も、民事や金銭紛争などの司法実務において、宗主国の法ではなく現地の伝統的な司法制度が継続して利用された。この裁判において、イスラーム法に基づいて判決を下す役割を担ったのが、伝統的な裁判官であるカーディーであった。
問9	答え 2 平和十原則	アジア・アフリカ会議（バンドン会議）で採択された平和十原則は、1954年にインドのネルー首相と中国の周恩来首相の間で確認された平和五原則を基礎とし、さらに発展させたものである。主権の尊重や反植民地主義、民族自決などが盛り込まれ、第三世界の連帯を示す重要な指針となった。